

令和8年度 通信教育実施計画

松陰高等学校（本校／各学習センター）

教科		科目		単位数	履修上の留意点			
数学		数学A		2	数学A→数学B			
指導目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2)図形の構成要素間との関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。 (3)数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。							
	教科書			副教材等		添削指導	面接指導	
	新数学A[改訂版]					6回	2 単位時間	
	多様なメディアを利用した学習による 面接指導時間数の減免実施の有無		☐	実施している		多様なメディアを利用した学習		該当なし
			☒	実施していない		による減免後の面接指導時間数		
添削指導（レポート）								
回	学習内容					対応する 面接指導の回	提出期限	
1	場合の数					1	5月25日	
2	場合の数、確率					1	5月25日	
3	場合の数、確率					1	5月25日	
4	平面図形の基礎、三角形の性質					2	11月30日	
5	円の性質、空間図形					2	11月30日	
6	数学と人間の活動					2	11月30日	
面接指導(スクーリング)								
回	単位時間	学習内容				実施場所	実施日	
1		場合の数と順列、組み合わせの学習ののち、確率についても理解させる。				各学習センター	5月	
2		図形の性質（平面図形の性質、三角形の性質、円の性質、空間図形）について理解せる。数学と人間活動（数や位置を表す、数学で遊ぶ）について学ぶ。				各学習センター	11月	
多様なメディアを利用した学習								
計画段階では実施予定なし								
試験								
回数	試験範囲					実施場所	実施日	
1	レポート1～3					各学習センター	9月	
2	レポート4～6					各学習センター	2月	
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準								
添削指導、面接指導、試験の結果を総合的に評価する。 所定の添削課題の提出、面接指導の受講、試験の受験を満たし、学習成果が認められる場合に単位を認定する。								
その他								
各学習センターでは、本校の通信教育実施計画及び指示に従い実施する。施設状況や生徒の状況等に応じて日程・実施方法を調整する場合も、本校の承認又は指示のもと、指導内容・評価・単位認定基準に変更が生じない範囲で対応する。								